

受験番号 _____ 番 氏名 _____

1. 全日本剣道連盟制定の「剣道の理念」を答えなさい。

2. 杖道を学ぶ目的について、次の（ ）内に当てはまる語句を下の語群より選び記入しなさい。
杖道は（ ）の修養と（ ）の鍛錬を第一義とする。決して（ ）の技ではなく（ ）の技で、その目的は（ ）にある。

語群 心 攻撃 精神 身体 守備 手足 気力 精神修養

3. 用具(杖・太刀)の規格について、次の（ ）内に当てはまる語句を下の語群より選び記入しなさい。
杖は、長さ（ ）センチ、直径（ ）センチで、材質は（ ）のものを用いる。また、太刀は全長（ ）センチで柄の長さは（ ）センチの（ ）の木刀を用い、鐔は（ ）製とする。

語群 2. 4 24. 2 白櫨 128 革 101. 5 赤櫨

4. 全日本剣道連盟杖道の礼法について、次の（ ）内に当てはまる語を下の語群より選び記入しなさい。
座礼と立礼があり、立礼は、上座に対しては約（ ）度、相互の立礼は約（ ）度で相手に注目して行う。
打は太刀を（ ）、仕は（ ）または（ ）で行う。

語群 15 20 30 45 左手携刀 右手提刀 常の構え 提杖 立杖

5. 全日本剣道連盟杖道の基本形の名称について、次の（ ）内にあてはまる語を記入しなさい。
一本目 本手打 二本目 逆手打 三本目（ ） 四本目（ ）
五本目（ ） 六本目 巻落 七本目（ ） 八本目 繰放
九本目 体当 十本目（ ） 十一本目 胴払打 十二本目 体外打

6. 全日本剣道連盟杖道の基本形の効果について、次の（ ）内にあてはまる語を下の語群より選び記入しなさい。
1) 正しい姿勢と（ ）を高める。
2) （ ）がわかり、打突が確実となる。
3) （ ）が正確、機敏、活発となる。
4) （ ）がなくなり、打筋が正しくなる。
5) 目付、眼が明らかとなり、（ ）が充実してくる。

語群 個癖 気位 気合 身体 間合 動作 礼儀

7. 全日本剣道連盟杖道の形の名称について、次の（ ）内にあてはまる語を記入しなさい。
一本目 着杖 二本目 水月 三本目（ ） 四本目 斜面
五本目（ ） 六本目 物見 七本目（ ） 八本目 太刀落
九本目（ ） 十本目（ ） 十一本目 乱留 十二本目 乱合

8. 右本手の構えの要領について、次の空欄に当てはまる語句を下の語群より選び記入しなさい。
（ ）から、右手、右足を前に出し、左手で杖尾を握り、右手をすべらせて、全長のほぼ（ ）の手幅にとり、杖先を相手の（ ）にし、「（ ）」となって構える。

語群 4分の1 水月の高さ やや半身 常の構え 3分の1 提杖 目の高さ 真半身

9. 全日本剣道連盟杖道基本の「逆手突」の目的について、次の（ ）内に当てはまる語句を下の語群より選び記入しなさい。
「逆手突」は杖を（ ）にもって、相手の（ ）を（ ）から突き、さらに（ ）で（ ）を打つ技で、突きと打ちの動作を連続して行う技である。

語群 順手 顔面 右本手打 水月 逆手 上 正面 右逆手打 脇腹

10. 全日本剣道連盟杖道杖道の「着杖」の目的について、次の（ ）内に当てはまる語を記入しなさい。
「着杖」は、（ ）から切りおろす太刀を、体を（ ）にかわして（ ）を打ち、さらに、退きながら上段に構えるその（ ）を（ ）する形である。